

▼INDEX▼

■【会計監査人情報】
・令和5年度会計監査人による部局往査が始まります
■【監査ニュース】
・山形大学個人情報 380 人分が流出か 【9/2 河北新報】 他 15 件
■【お知らせ】
・人事異動について
■【Audit Cafe】
・サンマ

表題写真 ：鳴子峡の紅葉

会 計 監 査 人 監 査 情 報

・令和5年度会計監査人による部局往査が始まります

１１月から会計監査人である有限責任監査法人トーマツによる部局往査が実施されます。

部局往査の内容としては、部局内の支払（債務計上）や入金（債権計上）などの各取引に関する手続きフロー、固定資産の管理に関する手続きフロー、人事給与に関する手続きフロー、現金等有価物の管理に関する手続きフロー及び統制手続き全般について、その有効性を確認するために、事前に会計監査人が抽出した伝票等の閲覧やヒアリングを実施いたします。

昨年度は一部オンラインで実施しましたが、今年度はすべて実地で行います。往査対象となった部局におかれましては、ご協力の程よろしくお願いいたします。





会計監査人監査の内容とは？

会計監査人監査（部局往査）では、（1）全般的事項、（2）業務プロセス、（3）その他、会計監査人が必要と認める事項について監査を行います。

詳細については下記監査室 HP にてご確認ください。

・会計監査人監査の概要（http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/3-3index.html）
・おうでぃっとめーる第 141 号（http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/mail_magazine/4.12.pdf）

監 査 ニ ュ ー ス

・山形大学個人情報 380 人分が流出か 【9/2 河北新報】
・任期付き研究者 雇用継続 8 割 本人希望で無期契約転換、順調 【9/13 産経新聞】
・「自己研さん」 若手の過酷勤務 線引き曖昧 環境改善が急務 【9/14 読売新聞】
・女児へのわいせつ略取未遂容疑 東北医科薬科大教授 逮捕 【9/14 河北新報】
・長崎大雇い止め 和解 助教、無期雇用で復帰へ 【9/16 毎日新聞】
・元特任准教授 データ盗用 【9/16 河北新報】
・東北大「雇い止め」84 人 有期雇用 10 年の研究者・技術者
80 人は雇用継続 昨年度末 【9/20 朝日新聞】
・中国人研究者自殺訴訟 東北大側が棄却求める 【9/20 河北新報】
・北大、論文のデータ捏造・改竄認定 【9/21 産経新聞】
・東北大で実験中に爆発 【9/22 読売新聞】
・コロナ留年 学生敗訴確定 【9/23 河北新報】
・「不正指針、国改定を」査読偽装 学術会議が報告書 【9/26 毎日新聞】
・労災認定のアカハラ 大学認めず 山口大 被害講師が提訴 【9/29 朝日新聞】
・雇い止め「不適切な点なし」元卓越研究員 理研調査委が報告書 【9/30 朝日新聞】
・国立大 6 割 採用時に確認せず 【9/30 朝日新聞】
・立教大学野球部 下級生の歯折る 【9/30 読売新聞】

お 知 ら せ

・人事異動について

令和５年１０月１日付で非常勤職員が採用となりました。

監査スタッフ（係員） 清水石 道子

新体制となった監査室を、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「サンマ」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

だんだん秋も深まり過ごしやすくなってきた今日この頃ですが、今回は「サンマ」について取り上げたいと思います。



秋と言えば・・・に続くことばとしては、芸術、スポーツ、食べ物（芋煮、まつたけ、栗、果物等）、などなど人それぞれ秋の感じ方は紅葉のごとく色々あると思いますが、自分の中で勝手にランキングするとすれば1位はやっぱり「サンマ」になります。サンマを食べるのがもの凄く大好きだというようなキラキラした理由ではなく、どちらかと言うと“あたり前のもの”という昔からのド定番と言った理由だと思います。



というのも、わたしの地元は岩手の小さな港町ですが、本州一のさんまの水揚げ量があったそうで（今現在はわかりませんが、“日本一”ではなく“本州一”というところが微妙なところです…）、昔から何かとサンマを推している町でした。日常の食卓にはもちろんのこと、小中学校のときの給食にもよくでることがあり、何もない町なのでサンマ祭りなどサンマにちなんだ町おこし、さらには珍しいサンマ出汁を使ったラーメン屋も流行っていました。また、近所に親戚の魚屋があったということもあり、なおさらサンマを食す機会も多かったと思います。この時期になると店先に発送用の発砲スチロールが山積みされ、それに氷を敷き詰めサンマを“これでもか！”と威勢よくパンパンに詰めているおじさんの姿が自分にとってはこの時期のよくある風景でした。先日幸運にも実家からサンマが送られてきたので、庭で炭をおこし、塩焼きにして食しましたが、もちろん美味しく秋を感じることができましたが、その味は地元のことを思い出す懐かしさの方がつよかったような気がします。まさにソウルフードなのかもしれません。今回は塩焼きでしたが、わたしはやっぱりサンマの刺身が一番好きです。



さて、これまでひたすら「サンマ」を連呼してきましたが、漢字としては「秋刀魚」と誰もが思い浮かべると思いますが、魚は一般的には、魚に堅で鰹（かつお）、魚へんに周で鯛（たい）など魚へんに◯と一文字で表すことが多いと思います。ではなぜ「サンマ」は魚へんの一文字ではないのか？と疑問に思い調べたところ、これには諸説あるそうですが、「サンマ」においても魚へんの一文字があることがわかり、魚へんに「祭」の「鱠」も「サンマ」と読むとのことでした。「鱠」はコノシロを指す漢字でもあるそうですが、江戸時代には河岸にサンマが揚がるとお祭り騒ぎになったことからこの字が使用されたとも言われているようです。ちなみに魚へんに秋は鰍（かじか）でした。



そんな「サンマ」ですが今では不漁がつづき漁獲量は 15 年前の5%と、かなり激減しており、それにより値段も高騰し、庶民の秋の味覚では段々なくなってきているのが現状です。サンマは回遊魚なのでどこかにはいるはず！サンマはどこへ消えたのでしょうか？消えたなぞが解明され、昔のように大量に獲れれば、漁師の方々、魚屋、我々のような消費者などたくさんの人が祭りほどではないですが喜ぶという意味でまさに「鱠」ですね。



ですが、「サンマ」はやっぱり「鱠」となると何だか華やかなイメージになり高級感がでてしまいそうなので、それよりは”安くて美味い”庶民の味方であってほしいですし、何より旬の時期及び体が名を表している「秋刀魚」がしっくりくると思います。

これまでどおり秋到来の使者として、以前のように気軽に食される日がくることを期待しています。

（サンマーメンも好きな　監査室 N）

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは…

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：新沼）
022-217-5680，4880（佐々木、熊谷、齋藤、國分、清水石）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University